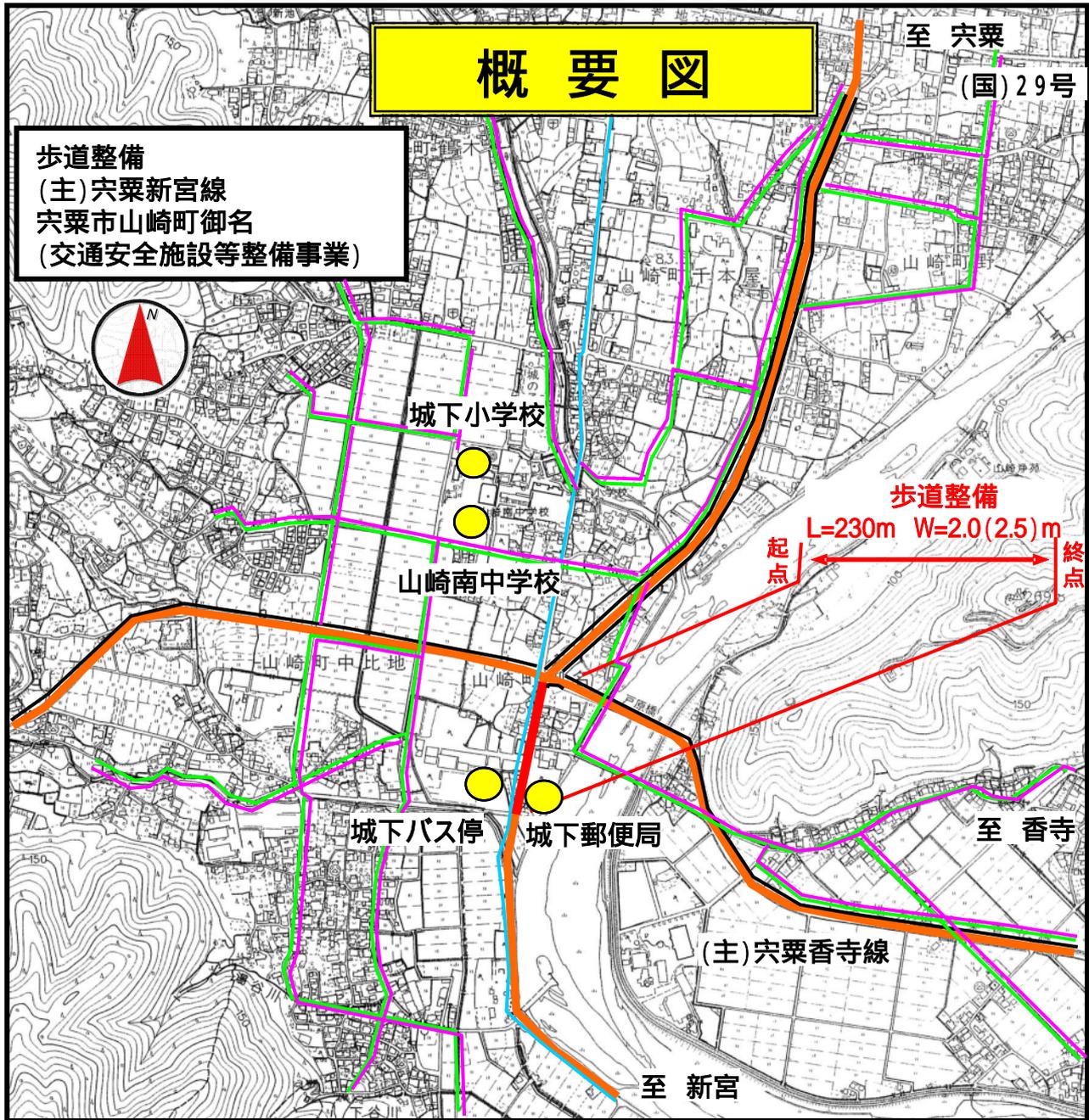


投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 北村 昭二 (交通施設係長 鎗水 正和)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	4.0億円
		交通安全施設等整備事業 (主)宍粟新宮線 <small>しろうしんぐうせん</small>	宍粟市山崎町御名 <small>しろうしやまさきちょうごみょう</small>	内用地補償費	3.1億円
所在地				着手予定年度	完成予定年度
宍粟市山崎町御名 地内				平成23年度	平成27年度
事業目的			事業内容		
<p>当該事業区間は、高校生の通学路となっているが、歩道が設置されていないため、大型車等が通行する際に危険な状況となっている。 そこで歩道を整備することにより、通学路の安全・安心を確保する。</p>			<p>歩道整備（片側） L = 230m W = 2.0m(2.5m) 現況 歩道無し (負担割合 国5.5/10 県4.5/10)</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>[周辺状況] ・当該事業区間付近には、宍粟市山崎町南部に位置している。 ・山崎高校・龍野北高校・龍野高校への通学路（全て自転車）となっているが、当該区間には歩道がなく、大型車等が通行する際に危険な状況となっている。</p> <p>[交通状況] ・自動車交通量が多い。大型車混入率(11.1%) (自動車 11,188 台/日、歩行者 14 人/12hr、自転車 120 台/12hr)</p> <p>[交通事故] ・過去 5 年間に全事故件数は 12 件発生（内死亡事故 1 件） ・過去 5 年間に自転車の事故が 3 件発生している。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>[効果] ・高校生の通学の安全を確保できる。</p> <p>[事業執行環境] ・住民参加による交通安全総点検(H21.5.7実施、12人参加)を実施し、歩道の必要性を求められている。 ・地元自治会より、歩道設置の要望書が提出されている。</p>				
(3)環境適合性	<p>・歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。</p>				
(4)優先性	<p>・自動車交通量が多く、通学生は危険な状況にあり、早期の対策が必要である。 ・地元からの要望が強い。</p>				



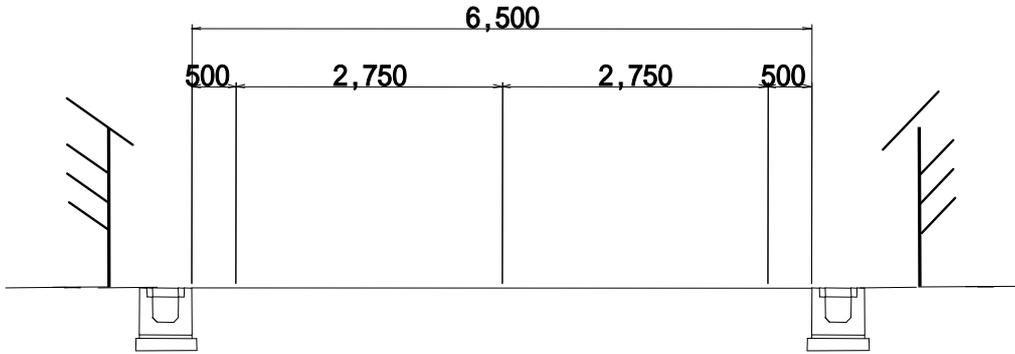
凡例	
県道	
既設歩道	
事業区間	
小学生通学路	
中学生通学路	
高校生通学路	



標準断面図

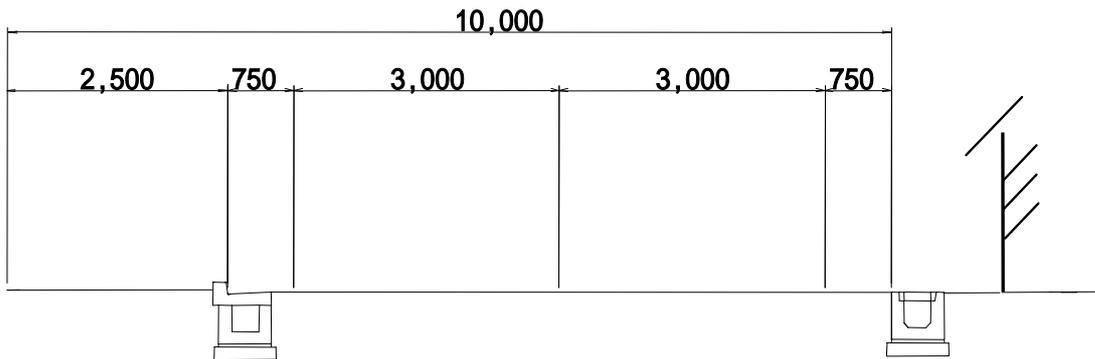
整備前

現 況



整備後

計 画



事業スケジュール

工 種	年 度				
	H23	H24	H25	H26	H27
調査・設計					
用地補償					
工 事					

通学状況写真

